

臨床研究に関する情報およびご協力をお願い

国立国際医療センターの ACC では、下記の研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

■研究課題名：

外来通院治療を受ける HIV 陽性者の生活を支えるための看護支援に関する研究

研究 2 外来通院治療を受ける HIV 陽性者の仕事がある生活の経験と支援ニーズ

■研究の対象となる方

ACC で通院治療を続けながら仕事をされている、18 歳以上の方。ただし、診断または治療開始後 3 か月以内の方、日本語での意思疎通が難しい方、研究 1 に参加いただいた方を除きます。

■ご協力いただく内容

対面またはオンライン上でのインタビューで次の内容についてお伺いします。所要時間は 30 分以上 1 時間までです。

- ・仕事に生きがいや価値を感じるのはどのような時ですか。
- ・仕事に関連した困難を感じるのはどのような時ですか。
- ・仕事がある今の生活において、どのような支援を受けることを望みますか。

■研究の目的と意義

この研究は外来通院治療を受ける HIV 陽性の方々の仕事に焦点をあて生活の経験と支援ニーズについて記述し、外来で提供できる生活を支えるための看護支援について提案することを目的としています。このことは HIV 陽性の方々の生活の質の維持・向上、および長期療養を支えることにつながります。

■研究の実施期間

研究の実施許可日～2028 年 3 月 31 日まで

■この研究での情報の取扱い

本機構倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する情報から氏名等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

■機関長、研究責任者および研究内容の問い合わせ先

機 関 長：国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏

研究者・問い合わせ担当者：国立看護大学校 研究課程部後期課程学生 大木 悦子

研究責任者・指導教員：国立看護大学校 大学校長 萱間 真美

研究者・副指導教員：国立看護大学校 成人看護学 講師 清水陽一

メールアドレス：etsukooki33@gmail.com

電話：070-3286-8126（応対可能時間：8 時 30 分～13 時）